

ご利用になる前に

ここでは「**しんきん電子記録債権システム**」をご利用になる前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。

- 1 ご利用環境と動作条件の確認…………… 2
- 2 初期設定とは…………… 4
- 3 ソフトウェアキーボードの使いかた…………… 6

1 ご利用環境と動作条件の確認

本システムのご利用にあたり、推奨する動作環境をご案内します。 ※1

■ ご利用可能な OS/ブラウザの組み合わせ ※2

OS \ ブラウザ		Internet Explorer				Safari	Firefox
		6.0	7.0	8.0	9.0	5.1	7.0
Windows XP (32bit 版のみ) ※3	SP3	○	○	○	—	—	○
Windows Vista (32bit 版のみ) ※3	SP2	—	○	○	○	—	○
Windows 7 (32bit 版のみ) ※3	(なし)	—	—	○	—	—	—
	SP1	—	—	○	○	—	○
MacOS X 10.6	(なし)	—	—	—	—	○	○
MacOS X 10.7	(なし)	—	—	—	—	○	○

赤い太枠内は、電子証明書を利用できる OS/ブラウザの組み合わせ (Windows 7 は SP1 必須)

— : 組み合わせなし

■ その他のソフトウェア

対象	ソフトウェア
PDF 閲覧用ソフト ※2	Adobe Reader 9、Adobe Reader X(10)
メール閲覧用ソフト	任意
CSV 加工用ソフト	任意 ※4

■ ハードウェア環境 (参考)

対象	内容
パソコン本体装置	IBM PC/AT 互換機、Macintosh 上記で規定する各種ソフトウェアの必要スペックを充足するもの
マウス	パソコン本体装置に対応しているもの
キーボード	英数字・記号・日本語入力可能なもの
ディスプレイ	1024×768 ドット以上の画面解像度を推奨
プリンタ装置 ※5	A4 の用紙が印刷可能な装置

※1 上記内容については動作確認済を意味するものであり、動作環境を保証するものではありません。

※2 今後の製造元のサポート期限の状況により、変更になる場合があります。

※3 最新の Service Pack の適用を推奨します。

※4 接続する端末で CSV ファイルをアップロード・ダウンロードするために、ファイルを作成または二次加工する場合に必要です。

※5 帳票の印刷を利用しない場合は不要です。



OS と Internet Explorer のバージョン

- OS のバージョンの確認のしかた
デスクトップの [コンピューター] を右クリックし、 [プロパティ] を選択します。
システムの画面が表示されますので、「コンピューターの基本的な情報の表示」で「Windows Edition」のバージョンを確認します。
※ Windows XP の場合は、デスクトップの [マイコンピューター] を右クリックし、 [プロパティ] を選択します。システムのプロパティ画面が表示されますので、 [全般] タブをクリックし、「システム」のバージョンを確認します。
- Internet Explorer のバージョンの確認のしかた
Internet Explorer を起動し、 [ヘルプ] - [バージョン情報] を選択します。
バージョン情報が表示されますので、バージョンを確認します。

2 初期設定とは

本システムをご利用いただく前に、次の設定を行っていただきます。

これらの設定を「初期設定」といいます。

それぞれの詳しい設定方法は「初期設定編」に記載しています。

- 事前準備（Internet Explorer の設定）：
ご利用いただくパソコンが正しく動作するよう、Internet Explorer（ブラウザ）の設定を行います。
- ログインパスワード設定：
初回ログイン時に入力するパスワードは、初回のみ有効です。
次回以降のログイン時に入力する新しいパスワードを設定します。
- 承認パスワード設定：
取引を確定するユーザ（承認者）に、承認パスワードを設定します。
※ 仮登録のみを行うユーザ（担当者）には、承認パスワードの設定は不要です。
- 業務権限付与：
（マスターユーザの初期設定、一般ユーザの取引権限設定はマスターユーザが行います。）
本システムは、いくつかの業務に分かれています。業務ごとに、取引権限を設定することができます。
また、重要な取引は、担当者権限で仮登録を行い、承認者権限で承認を行います。
※ 担当者権限：電子記録債権の取引を仮登録、または差戻しされた取引を修正／削除する権限
※ 承認者権限：担当者が行った仮登録を、承認／差戻しする権限。
承認者が承認することによって、取引が確定します。



業務権限の設定

- ・ 重要な取引は、担当者と承認者でユーザを分け、担当者権限を持つユーザで仮登録を行い、承認者権限を持つユーザで承認を行うようにしてください。
- ・ 仮登録から承認までを同一ユーザで行いたい場合は、該当するユーザに担当者権限と承認者権限の両方を付与してください。

■ 本システムのユーザ

本システムを利用できるユーザには、「マスターユーザ」と「一般ユーザ」の2種類があります。

- マスターユーザ



自分自身を含め、システムを利用するすべてのユーザを管理できるユーザです。

- 一般ユーザ



マスターユーザによって管理されるユーザです。

マスターユーザによって、取引権限が設定されます。



ユーザ権限の設定

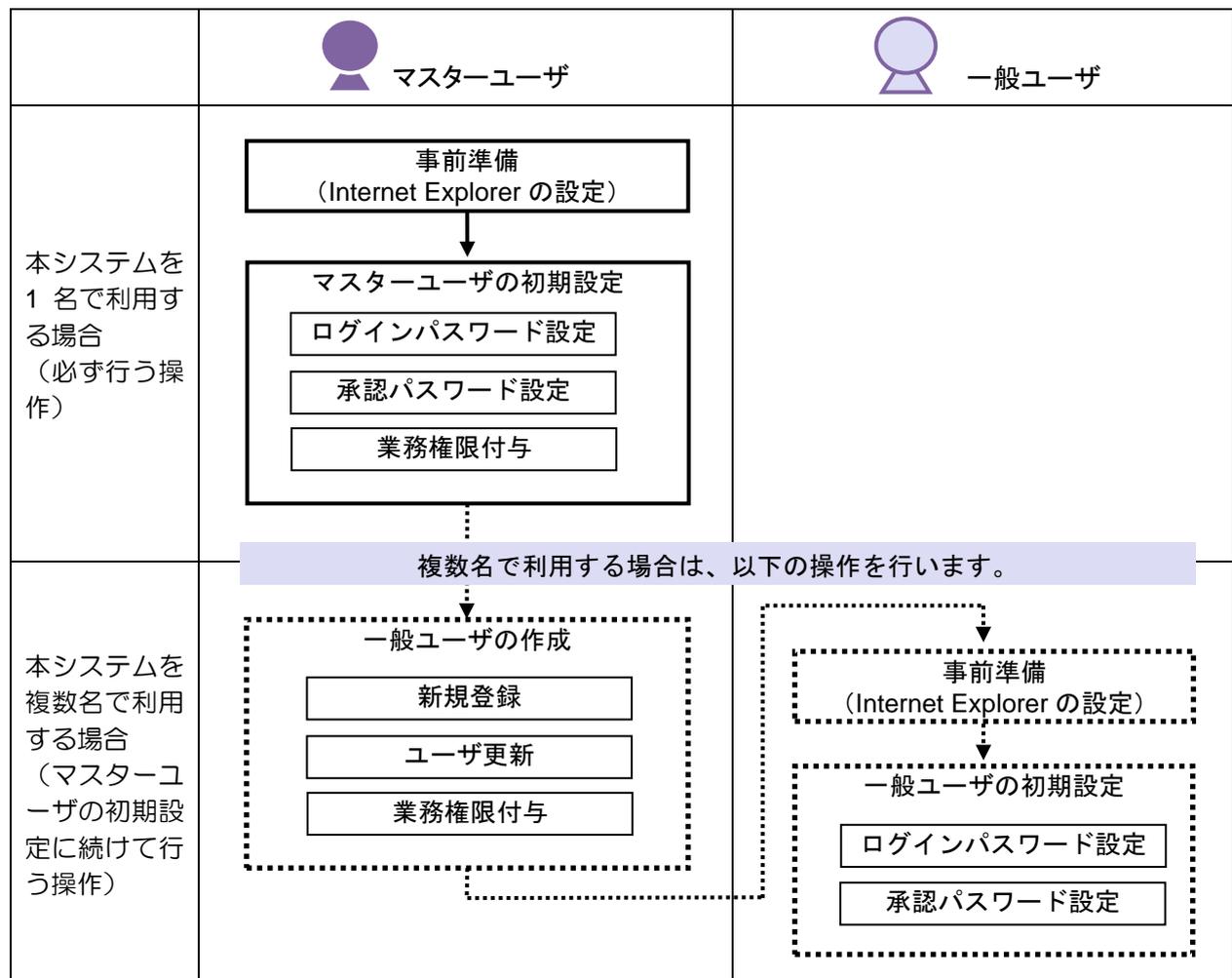
- ・ マスターユーザは、一般ユーザにすべての取引権限を設定することができます。
たとえば、マスターユーザ自身は一般ユーザを管理する権限のみを持ち、実際の取引操作は一般ユーザが行うように設定することも可能です。
- ・ 一般ユーザを複数作成すれば、一般ユーザのうち一人に承認者権限を持たせ、その他は担当者権限とすることもできます。

■ 初期設定のながれ

まず、管理者となる「マスターユーザ」1名を設定します。操作方法としては、事前準備（Internet Explorer の設定）の後、マスターユーザのログインパスワード設定、承認パスワード設定、業務権限付与を行ってください。

本システムを複数名で利用する場合は、一般ユーザを作成する必要があります。まず、「マスターユーザ」が「一般ユーザ」の登録と最新化、業務権限付与を行ってください。そのうえで、「一般ユーザ」は事前準備（Internet Explorer の設定）の後、一般ユーザのログインパスワード設定、承認パスワード設定を行ってください。

※ 本システムを1名で利用する場合は、一般ユーザを登録する必要はありません。



初期設定が済んだら、設定したログインパスワードを使ってシステムにログインし、取引が行えるようになります。



パスワードをお忘れなく

- ・ パスワードは忘れないように、また、取扱いにはご注意ください。
- ・ マスターユーザの承認パスワードやログインパスワードを忘れた場合は、当金庫にて所定のお手続きをいただくことになります。

3 ソフトウェアキーボードの使いかた

本システムでは、「ログインパスワード」の入力時に、ソフトウェアキーボードが使えます。



ソフトウェアキーボード

- 画面上に表示されるキーボードのキーをマウスでクリックして、文字を入力するソフトウェアです。キーボードからの入力情報を盗むスパイウェア対策として、パスワードの入力時には、ソフトウェアキーボードをお使いいただくことをおすすめします。

- ログイン画面で、「ログインパスワード」入力欄の「ソフトウェアキーボード入力」をクリックします。

【ID・パスワード方式】

【電子証明書方式】

- 画面にソフトウェアキーボードが表示されます。キーの配置を確認します。
※ システムの種類によって、記号のキーが表示される場合があります。

- ※ セキュリティ対策のため、カーソルを青い枠内に移動すると、キーの数字や文字が表示されなくなります（キーの配置は変わりません）。
- ※ カーソルを青い枠外でクリックすると、キーの配置がランダムに並び替えられます。

- カーソルを青い枠内に移動し、キーをクリックします。
1文字入力するたびに、「ログインパスワード」入力欄に「●」が1つずつ表示されます。



- ※ 入力した1文字を消すときは、[1文字クリア] ボタンをクリックします。
- ※ 入力した文字をすべて消すときは、[全てクリア] ボタンをクリックします。
- ※ 文字を入力し終わったら、[閉じる] ボタンをクリックし、ソフトウェアキーボードを閉じます。



- ログイン画面で、[ログイン] ボタンをクリックします。

【ID・パスワード方式】

【電子証明書方式】